

令和3年度 さいたま市立ひまわり特別支援学校 自己評価書

校長 長谷場 明博



1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

(1) 【目標】 12年間を見据えた系統的・継続的な指導の充実

【項目】 教育課程

(2) 【目標】 保護者、地域、関係機関と協力・連携した系統的・継続的な教育活動の推進

【項目】 保護者・地域

(3) 【目標】 安全・安心の確立 【項目】 安全管理

(4) 【目標】 職員の働き方改善 【項目】 組織運営

2 評価結果について

(1) 「子どもたち一人ひとりを理解し、適切な授業・支援をしている」に関する保護者アンケートにおいては、肯定的意見が89%であった。全ての教員が児童生徒の発達段階に合わせた授業の工夫や、ICTを利活用した授業づくりを心掛けた。また、コロナウイルス感染症対策として、リモートによる行事や職員会議、運動会やひまわり祭のライブ配信など、ICTを利活用した新しい試みにも学校全体で取り組んだ。

(2) 保護者、地域、関係機関との連携という面では、担任が保護者と面談等を行い、児童生徒の実態を踏まえた授業を行うよう努めた。その結果、「個別の指導計画で、保護者の願いを踏まえた授業が計画されている。」に関する保護者アンケートの肯定的評価は100%であった。一方で、「保護者の意見や要望を、適宜、取り入れている」に関する保護者アンケートについては、肯定的評価が89%であった。今後は、コロナウイルス感染症対策を踏まえ、学校・家庭・地域の連携を強化するための情報提供、情報共有を積極的に行っていく。

(3) 日頃から学校全体で事故防止に努め、ヒヤリハット事案についても再発防止策も含め、全職員で情報共有を行った。食に関することや医療的ケアに関すること等、保護者が安心して学校に子どもを預けられるよう、丁寧さとともに速やかな対応を心掛けた。「子どもたちの安全に配慮し、安心できる教育活動が行われている」に関する保護者アンケートの肯定的評価は100%であった。

(4) 教職員に対して、時間外勤務の時間を意識付けるとともに、毎週水曜日を「ノー残業デー」に設定し、定時退勤を積極的に促した。今年度は、時間外勤務の月平均時間が30時間以内の教職員数は、全体の90%であった。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・保護者や関係機関とのより一層の連携
- ・ICT活用の推進
- ・教員の授業力向上
- ・医療的ケアの充実

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。